

壬生東小だより

第10号
令和8年2月20日
壬生町立壬生東小学校
校長 福田 尊史

教育目標 ・仲良く助け合う子 ・よく学ぶ子 ・たくましい子
目指す子供像「他者と協働し、目標に向かって根気強く取り組む子ども」



いよいよラストスパートです！



早いもので、令和8年がスタートして1ヶ月が過ぎました。2月は「逃げる」と言われるように、1年で最も短い一ヶ月ですが、学校にとっては進級・進学に向けた「ラストスパート」の時期でもあります。今月のカレンダーには、卒業や進級に向けた行事が並びます。今のクラスで過ごす一日一日を宝物のように大切に、自信を持って次学年の門を叩けるよう、全職員で子供たちの背中を力強く押してまいりたいと思います。今月も、変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます

感謝して食べよう、給食週間



1月26日（月）から30日（金）までの5日間、本校では「給食週間」を実施いたしました。この期間、児童一人一人が毎日の給食への理解を深め、食を支える人々への感謝の気持ちを育む様々な活動（給食集会や作品展）に取り組みました。



給食集会では、普段入ることのできない給食室の様子を映像で紹介しました。山のような食材を大きな釜で手際よく調理する調理員さんの姿に、子供たちは驚きと尊敬の眼差しを向けていました。給食委員会からは、日頃の感謝を込めてお手紙とホッカイロが贈呈されました。直接「ありがとう」を伝えることで、子供たちの「食」への意識がさらに高まったようです。



「壬生開拓を伝える会」出前授業！



2月3日（火）、6年生が「壬生町生涯学習館」を訪れ、「壬生開拓を伝える会」の皆様による出前授業に参加しました。私たちが日常的に利用している大型店舗や飲食店が立ち並ぶ風景。しかし、かつてこの地が日本軍の飛行場であったこと、そして戦後の何も無い状況から、先人たちが血のにじむような努力で大地を切り拓いてきたことを、子供たちは初めて知ることとなりました。実話に基づいた読み聞かせを通し、豊かな今の暮らしが「当たり前」ではなく、多くの人々の努力の積み重ねの上に成り立っていることを学びました。

